



# MON Nara 通信



Numéro 21

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

AVRIL 2025 4月

## これからの催しご案内

### 第156回フランス・アラカルト「あなたの知らない農業大国フランス」

昨年の創立 30 周年記念祝賀会で『ラシーヌ讃歌』合唱をご指導いただいた大城閑さんから、ご専門のフランスの農業についてお話しいたします。

- ❖ 日時：2025年5月25日(日) 14:30~16:30
- ❖ 会場：生駒セイセイビル 4階 404号室
- ❖ ゲスト：大城閑(おおき しずか) (福井日仏協会前会長、福井県立大学生物資源学部名誉教授)
- ❖ 参加費：会員 500円、一般 1,000円
- ❖ 申込先：sugitani@kcn.jp TEL.090-6322-0672 (杉谷)



❖ **大城閑さんからのメッセージ:** 「フランス」と聞くと、皆様はご自身の経験に基づいて色々な事を思い浮かべられると思います。長年にわたって農業、特に園芸分野に関わってきた私は、フランスと言うとすぐに農業と結びつけてしまいます。歴史的に見てもフランスの種々の文化を支えてきたのは農業であると言っても過言ではないでしょう。特にあの素晴らしいフランス料理の数々は豊かな農業生産なしには考えられません。講演ではまず、そのフランス農業の現状について、日本と比較しながら紹介します。次いで、現在の農業生産技術の発展に寄与した何人かのフランス人たちの業績を、ルイ 14 世の時代から現代に至るまで見てみましょう。最後に、順調だと思われがちなフランス農業にも多くの問題点があります。農業政策に不満を持つ農業者たちの、日本では考えられないような実力行使を紹介するとともに、これらの問題点についても考えてみたいと思います。

### 第9回美術クラブ例会「絹谷幸二 平和へ」展 鑑賞会のご案内

眼下に大阪湾の絶景を見渡せる天空美術館で、画家絹谷幸二氏の「平和」をテーマとした展覧会を鑑賞します。

- ❖ 日時：4月26日(土) 15:00~17:00
- ❖ 会場：絹谷幸二天空美術館 梅田スカイビル タワーウエスト 27階
- ❖ 集合時間・場所：15:00 に集合(参加者には場所など詳細案内)。展覧会チケット(1300円)は事前に各自購入のこと。
- ❖ ナビゲーターの南城守氏(絹谷幸二天空美術館 顧問)による事前解説の後、各自自由に鑑賞。その後、意見交換会を実施します(意見交換会が喫茶店の場合、飲み物各自負担)。そのあとは、有志による懇談会を予定しております。

- ❖ 会費：会員 無料、一般 500円。
  - ❖ 定員：20名
  - ❖ 問合せと申込先：sugitani@kcn.jp tel:090-6322-0672(杉谷)
- ❖ **南城さんからのメッセージ:** 奈良市出身で文化勲章受章者の絹谷幸二氏は、若き日にヴェネツィア・美術アカデミーで人類最古の壁画アフレスコ(伊 英フレスコ)を修得。その後、この古典技法を現代アートに甦らせ国際的に活躍する画家です。周知の如く盛期イタリア・ルネッサンス美術は、西洋美術の指針とされ、フランスにおいてその憧れは「イタリア詣」となり、17世紀のプッサンから19世紀のアングルまで、美術アカデミーで偉大なる修学法と考えられました。印象派のルノワールも、その後の近現代の画家たちまでもそれを実践しています。考えればあの「モナリザ」がルーヴル美術館にあるのも、フランソワ一世がレオナルド・ダ・ヴィンチをアンボワーズのクロ・リュセ城に招聘し、終の住処とさせた所以。

フランス美術にとって、古代ギリシア・ローマ美学の「復活」を掲げたイタリア美術は、まさに美の規範「クラシック(古典・理想美)」そのものでした。つまりそこには時代と共に生まれ変わる「永遠の新しさ」があったのです。今回の鑑賞会は、フランス美術から視点を広げて、イタリアの古典絵画を学んだ絹谷藝術から、西洋美術の豊穡さを垣間見ようとするものです。何よりもテーマが「平和」。混迷する昨今の世界情勢に警鐘を鳴らし、人類救済のメッセージを発する「美術力」を併せて考える機会となれば…。 C'est pas mal ! n'est-ce pas ?



日月天馬飛翔

## 第 66 回シネクラブ例会「アラン・ドロン追悼②『冒険者たち』」

今回は、1994年の奈良日仏協会創立時に奈良シネクラブの責任者だった橋本克己さん(字幕翻訳家)が、1995年3月の例会で紹介した作品『冒険者たち』を、30年の月日を経てあらためて紹介していただきます。お楽しみに！

- ❖日時: 6月29日(日) 13:30~17:00
- ❖会場: 奈良市西部公民館 5階視聴覚室(予定)
- ❖プログラム: 『冒険者たち』(1967)
- ❖監督: ロベール・アンリコ
- ❖参加費: 会員 200円、一般 300円。
- ❖問合せ: Nasai206@gmail.com tel:070-1731-0230(浅井)
- ❖予約不要

❖**プレゼンターからのメッセージ:** 『冒険者たち』は60年代後半から70年代に青春を送った多くの人にとって思い入れの強い作品だろう。そして映画を気に入った人の多くは、あの要塞島 Fort Boyard に行きたいと思うだろう。僕もその一人で1986年に行ったが、運悪く悪天候で観光船が欠航し行けなかった。2000年に再訪し、やっと近くから見る事が出来た(映画でも分かるが周囲が岩場で小さな船でしか行けない)。観光船は要塞に行く前にエクス島 Île-d'Aix に立ち寄り1時間近い自由時間があつた。当時は何でもネットで情報が得られる時代ではなく、この島のことも何も知らなかった。映画を見た記憶だけで似ているなどマヌー(ドロン)が小舟に乗った場所を写真に撮り、歩いていて面白い日時計があり写真を撮ったが、ビデオを見直すと、まさにその家がマヌーが滞在した家だった、映画に出てくるアフリカ美術館も同じ島だと後から知り、再訪することがあれば絶対行こうと思っている。なお要塞島の場所はボルドーとナントの間、ラ・ロシュエルの沖合だが、一応個人の所有で勝手に上陸はできない。(橋本克己)



## 活動記録

- ★ 3月2日(日): 第65回シネクラブ例会「アラン・ドロン追悼①『恋ひとすじに』」
- 詳細報告は Mon Nara 6月号をご覧ください。

## 《2025 年度第 1 回理事会報告》…事務局

- ★日時: 2025年3月27日(木) 15:00~15:55。★場所: 野菜ダイニング「菜宴」。
- ★出席者: 三野、浅井、中辻、藤村、高松、喜多、菌田、杉谷。★議題 1. 2025年度会費納入額・会員数。2. 前回理事会(1/16)後の活動: 2025年度総会(2/9)、第65回シネクラブ例会(3/2)。3. 今後の行事: 第9回美術クラブ例会(4/26)、第66回シネクラブ例会(6/29)、フランス・アラカルト(5~6月)、ガイドクラブ、秋の教養講座。4. Mon Nara、Mon Nara 通信。5. その他: 来年度役員体制。6. 次回理事会: 5月15日(木) 15:00~16:30 野菜ダイニング「菜宴」。



**後記** ★Mon Nara 通信 4月号と会員名簿をお届けします。★お手元に届く頃には、大阪・関西万博が開幕していると思います。チケット販売が複雑と評判が悪いですが、日仏交流をめざす当協会としては、フランス館が気になる場所。調べてみると、ヴェールで覆われたファサードをくぐり抜けると、地上から屋上まで一本のループ状の散歩道を巡ってさまざまな展示が見られるようになっており、最後はフランスの多様な自然を体験できる屋上庭園に通じるとありました。館内には、ブティック、ピストロ、ベーカーリーもあるとのこと。とにかく百聞は一見に如かず、新しい出会いがあるかも。(杉)

- ◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。
- ◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 6月号は5月31日が原稿締切日です。
- ◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2月、6月、10月発行)、または「Mon Nara 通信」(4月、8月、12月発行)に**チラシ同封を希望される方は**、1)内容がフランスに関わるもの、2)本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2025年4月 numéro 21

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : <http://www.afjn.jp> E-mail : [nara.afj@gmail.com](mailto:nara.afj@gmail.com) FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者: 三野博司